



2023年2月13日

各位

会社名 株式会社 ラック
 代表者名 代表取締役社長 西本 逸郎
 (コード番号：3857 東証スタンダード)
 問合せ先 執行役員 両角 貴行
 電話 03-6757-0100

特別損失の計上および通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）の第3四半期に特別損失を計上するとともに、通期の連結業績予想を修正することを決議しましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

当社は、2012年に旧ラック、エー・アンド・アイ システム、アイティークルーの3社が統合した経緯があり、それぞれの会社で運用していたシステムの統合、および一部老朽化したシステムの刷新を行うため、2020年10月の運用を目指して、2018年より社内新基幹システムの企画・開発を進めてきました。

しかしながら、その後追加開発等で延伸せざるを得ないなか、昨今、テレワーク等による働き方の多様化やクラウドを活用したデジタル化の進展など社会・経済活動が急速に変容し、環境変化への柔軟な適応が必須であるものの、現時点で開発しているシステムでは、求める機能が十分に得られないと判断したことから開発を中止し、新システムとして再構築することといたしました。

これにより、2023年3月期第3四半期において、社内基幹システム開発に伴う損失1,820百万円を特別損失として計上いたします。なお、新システムへの再構築により、当社の事業運営に与える影響はありません。

2. 2023年3月期の通期連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	50,000	2,100	2,100	1,410	円 銭 46.73
今回修正予想 (B)	43,000	1,600	1,600	△300	円 銭 △9.94
増減額 (B-A)	△7,000	△500	△500	△1,710	—
増減率	△14.0%	△23.8%	△23.8%	—	—
(ご参考) 前期連結実績 (2022年3月期)	42,660	1,595	1,769	1,401	円 銭 53.60

3. 修正の理由

新型コロナウイルス感染症の感染者の再拡大や為替の円安、また世界的な半導体不足や原油高、ウクライナ情勢の長期化など厳しい社会・経済情勢のなか、通期の連結業績予想につきましては、セキュリティソリューションサービス事業（SSS事業）、システムインテグレーションサービス事業（SIS事業）とも製品関連が低調に推移するとともに、サービス関連が想定したほどの伸長を期待できないことから、売上高、営業利益、経常利益は前回予想を下回る見込みです。

また、上記のとおり特別損失を計上することから、親会社株主に帰属する当期純損失となる見込みです。

以上